



学校便り  
No. 34

# 武蔵

令和6年3月21日(木)

文責：池田 誠

卒業生及び保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。義務教育の中で一番長い6年間、ランドセルを背負って入学した6年前と比較すると、お子さんの心身の成長はとても著しいことでしょう。長きにわたり本校の教育活動にご理解とご協力いただき、誠に感謝申し上げます。お子さんの中学校でのご活躍を祈念しております。今日の卒業式の式辞では、子どもたちへのはなむけの言葉として「人と繋がることの大切さ」を話しました。重複しますが、改めてもう一度ご紹介します。

## 卒業式の式辞から ～「人と繋がる」ことの大切さ～



これから子どもたちは様々なことに影響を受けながら成長していくことと思います。例えば、尊敬できる人や1冊の本、雄大な大自然、1本の映画など、自分の人生に影響を与えるものに出会うはずですが。現在でもそうですが、私たちは膨大な情報に囲まれて生活をしています。このような情報化社会の中で生活をしていると、知らず知らずのうちに「自分にとって都合の良い情報」だけを選択し、「都合の悪い情報」は避けてしまう傾向があるのではないのでしょうか。これでは価値観は固定化し、狭い考えで物事を判断してしまうでしょう。そうならないために、子どもたちにはたくさん人と繋がってほしいと思います。人と繋がれば、必ずそこにはコミュニケーションが生まれます。コミュニケーションをとおして、私たちはお互いの価値観や考えを知り、信頼関係を築いていくことができます。

式辞の中では、「人と繋がる」ことのメリットを3つ話しました。

- 人と繋がると、自分が困ったときや悩んだとき、心が苦しいときに助けてくれます。安心を与えてくれます。
- 人と繋がると、新しいことにチャレンジするときに協力や援助をしてくれます。
- 人と繋がると、自分と違った考えや世界に触れることで、自分の価値観を変えていくことができます。

もちろんデメリットもあります。時には信頼していた人に裏切られて、深く落ち込むことがあるかもしれません。でも、そんな時に人の心は強くなります。人間は、人との繋がりの中で安全を確保し、人との繋がりの中で喜びや生きがい、愛情を見つけ、それを基にして生きていくのです。人との繋がりがあるからこそ「感謝」が生まれ、「助け合い」や「貢献」、「自己実現」があり、そしてその先には「**その人らしい生き生きとした人生**」があるのではないのでしょうか。

ご存知の通り、SNSの世界では簡単に人は繋がることができます。上手に活用しているSNSは、とても便利なコミュニケーションツールです。しかし、相手の顔(表情)が見えないことも多く、なりすましや虚偽が横行することもあります。また、自分の価値観と異なるつぶやきや投稿があると、誹謗中傷が繰り返されることも事実です。文字だけでは、真意や気持ちが伝わらないことがよくありますね。

これから「自分探し」の旅にでる子どもたちは、たくさんの人と出会い、影響を受けることでしょう。出会った人と繋がりを大切にし、直接コミュニケーションをとることで、自分らしさを確立して欲しいと思います。



(第46回 卒業証書授与式の様子)